

○ 研修機関情報＞法人情報＞「法人格・法人名称・住所等」

社会福祉法人 シティ・ケアサービス
〒814-0121 福岡市城南区神松寺1丁目7番1号

○ 研修機関情報＞法人情報＞「代表者名・研修担当理事・取締役名」

理事長	榎本 重孝
理事	田原義博
理事	山本啓二
理事	彌登 章
理事	岸川 博義
理事	大庭 欣二
監事	石川 隆典
監事	松永 俊彦

(※ 社会福祉法人シティ・ケアサービス 法人本部長 研修担当理事)

○ 研修機関情報＞法人情報＞「介護保険事業 事業概要」

シティケア神松寺	シティ・ホーム神松寺(グループホーム)	定員 8名
	シティ・デイサービス神松寺(通所介護)	定員 30名
シティケア長住	シティケア長住(介護老人福祉施設)	定員 50名
	ショートステイ(短期入所生活介護)	定員 10名
	シティデイサービス長住(通所介護)	定員 35名
	シティヘルパー長住(訪問介護)	—
	シティケアセンター長住(居宅介護支援)	—
シティケア博多	シティケア博多(介護老人福祉施設)	定員 100名
	ショートステイ(短期入所生活介護)	定員 20名
	シティデイサービス博多(通所介護)	定員 30名

○ 研修機関情報＞法人情報＞「その他の事業概要」

シティケア神松寺	シティ・ハウス神松寺(軽費老人ホーム)	定員 40名
シティケア長住	生活支援ハウス	定員 10名(8部屋)
	ケアハウス(軽費老人ホーム)	定員 20名
ウィルマーク香椎浜	介護付有料老人ホーム運営受託	健常棟 105部屋・介護棟 51部屋
ワーカーズ・シティケア	障がい者就労支援事業 (就労移行支援)	定員 10名
	(就労継続支援A型)	定員 10名
ヘルパー養成研修事業	介護職員初任者研修(旧 訪問介護員養成研修2級課程)	—

○ 研修機関情報＞研修機関情報＞「事業所名称・住所・電話番号等」

社会福祉法人 シティ・ケアサービス シティケア博多
 〒812-0011 福岡市博多区博多駅前4丁目22番2号
 TEL 092-452-2294 FAX 092-452-2290

○ 研修機関情報＞研修機関情報＞「理念」

私たちは、限られた社会資源を有効に活用し、
 環境との共生を計りながら
 お客様である利用者の自己実現に向けて最大限の支援活動を行ないます。

私たちは、地域社会におけるノーマライゼーションの実現に向けて
 あらゆる機会を通じて積極的な事業の展開を行ないます。

○ 研修機関情報＞研修機関情報＞「研修施設・設備」

講義及び演習会場一覧表

	会場名 (施設名又は教室名)	所在地	研修の定員 (人)	広さ (㎡)	受講者1人あたりの 会場面積 (㎡)	設備
会場①	シティケア博多	福岡市博多区博多駅前4-22-2	10人	32.33㎡	3.23㎡	建物はバリアフリー設計の高齢者福祉施設 (エレベーター、身障者用トイレ、身障者用洗面台等)
会場②	福岡市市民福祉プラザ (ふくふくプラザ)介護実習室	福岡市中央区荒戸3-3-39	10人	219.00㎡	21.90㎡	ふくふくプラザHP URL http://www.fukufukuplaza.jp/info/5f.html#part4
	福岡市市民福祉プラザ (ふくふくプラザ)401号室		10人	67.00㎡	6.70㎡	
	福岡市市民福祉プラザ (ふくふくプラザ)402号室		10人	67.00㎡	6.70㎡	
	福岡市市民福祉プラザ (ふくふくプラザ)602号室		10人	77.00㎡	7.70㎡	
	福岡市市民福祉プラザ (ふくふくプラザ)603号室		10人	74.00㎡	7.40㎡	
	福岡市市民福祉プラザ (ふくふくプラザ)視聴覚室		10人	132.00㎡	13.20㎡	

○ 研修機関情報＞研修機関情報＞「法人の沿革」

平成10年8月	○法人設立
平成11年10月	・シティケア神松寺 ケアハウス開業 デイサービス開業 グループホーム開業
平成12年4月	・シティケア神松寺 ホームヘルプサービス開業 居宅介護支援事業開業
平成13年10月	・シティケア長住 特別養護老人ホーム開業 ケアハウス開業 デイサービス開業 ショートステイ開業 生活支援ハウス開業 ・シティケア神松寺より移設 ホームヘルプサービス開業 居宅介護支援事業開業
平成17年3月	・シティケア博多 特別養護老人ホーム開業 ショートステイ開業 デイサービス開業
平成17年11月	・ウィルマーク香椎浜 運営受託
平成22年4月	・障がい者就労移行支援事業開始
平成23年6月	・障がい者対象 ヘルパー2級養成研修事業開始

学 則

1 事業者の名称及び所在地	社会福祉法人 シティ・ケアサービス 福岡市城南区神松寺1丁目7番1号
2 研修の名称及び形式	介護職員初任者研修 (通学)
3 事業者が用いる研修の名称	介護職員初任者研修
4 研修責任者名	社会福祉法人 シティ・ケアサービス 法人本部 部長 澤山 正登
5 研修の目的	「福岡障害者職業能力開発校」の委託訓練として、障害者の介護職員初任者研修修了を目的として実施する。
6 受講資格及び定員	公共職業安定所（ハローワーク）に求職申し込みを行い、福岡障害者職業能力開発校の斡旋を受けた方で、書類審査、面談審査に合格された方。定員：10名
7 研修参加費用 ・受講料 ・テキスト代 ・その他必要な経費	・合計：6,583円（税込み）予定 内訳：受講料：無料 テキスト代計：6,583円 (6,069円+514円) ・健康診断代、研修会場への交通費は別途実費負担 ※研修開始後はテキスト代の返金はいたしません
8 使用教材（テキスト） ※副教材を含む。	・介護職員初任者研修テキスト ・介護技術チェックシート (※ 財団法人介護労働安定センター作成)
9 研修カリキュラム	※研修日程表、見学及び実習実施日程表 (研修事業情報>研修日程表のとおり)
10 研修会場一覧	※講義及び演習会場一覧表 (研修機関情報>研修施設・設備のとおり)
11 科目ごとの担当講師名一覧	※担当講師一覧表（講師情報のとおり）
12 見学及び実習施設一覧	※見学及び実習施設一覧表 (研修事業情報>実習施設のとおり)
13 受講者募集手続	募集案内を福岡障害者職業能力開発校経由で関係機関に事前配布する。受講希望者は公共職業安定所（ハローワーク）で応募手続を行う。

<p>14 科目の一部の免除の取扱いとその手続</p>	<p>受講決定者のなかで、特別養護老人ホーム等における1年以上の介護等の実務経験が実務経験証明書で確認できた者については、福岡障害者職業能力開発校と協議のうえ対象科目を免除する。</p>
<p>15 通信学習の実施方法 ア 学習方法 イ 添削指導及び面接指導の実施方法 ウ 評価方法 エ 通信の方法によって行う地域</p>	<p>通信学習は実施しない</p>
<p>16 研修修了者の認定方法 (修了評価の実施方法等)</p>	<p>修了評価は、介護職員初任者研修必須科目を全て受講した後、受講内容に沿った1時間程度の筆記試験で行う。 (100点満点中70点以上の者を修了者として認定する) 70点に満たない場合は、補講のうえ再評価する。</p>
<p>17 研修欠席者の取扱い ※遅刻者及び早退者の取扱いを含む。</p>	<p>社会通念上、止むを得ない事由により欠席、遅刻、早退をする場合は速やかに届出をし、後日未履修科目の補講を受けるものとする。 ※ 止むを得ない事由とは (病気、天災、通所で使用する交通機関の事故・ストライキなど、その他当事業所が認めるもの)</p>
<p>18 補講の取扱い (実施方法及び費用の有無等)</p>	<p>修了評価を受けるための必須科目の90%以上を受講し、修了の見込みがあると本校が認める受講生は、修了評価までに行われる未履修科目の補講を必ず受講する。 (補講費用については無償とする) 必要な補講を受けなかった場合は、修了評価を受けることができず、介護職員初任者研修修了者の認定も不可。</p>
<p>19 受講の取消し</p>	<p>(1) 必須科目研修時間数の概ね1割を超えて欠席した者 (2) 受講指示を取り消された者 (3) 学習意欲に著しく欠け、修了の見込みがないと認められる者。 (4) 研修の秩序を乱し、その他受講生としての本分に反した者。</p>
<p>20 修了証明書の交付</p>	<p>修了を認定された者は、当事業所において修了証明書及び修了証明書(携帯用)を交付する。また、修了証明書の紛失があった場合は、本人の申し出により再発行できるものとする。</p>

21 研修修了者の名簿の管理	当事業所は、修了証明書を交付した者の氏名、生年月日、修了証明書番号、研修修了年月日等を記載した名簿を作成し、適正な管理を行うと共に永年保存する。
22 受講者の個人情報の取扱い	研修運営上知り得た受講生に係る個人情報は、当法人の個人情報管理の基本方針に従い厳重に管理し、使用にあたっては適切な取り扱いを徹底する。また、その秘密保持については十分注意を図る。
23 研修の実施担当部署	<p>本研修に関する連絡先及び担当者、並びに苦情などの相談窓口、連絡先及び担当者は次のとおりとする。</p> <p>社会福祉法人 シティ・ケアサービス 〒812-0011 福岡市博多区博多駅前4丁目2番2号 担当者 澤山 正登 (電話) 092-452-2294 (FAX) 092-452-2290 受付時間 : 月・火、木・金・土 9:00~17:30</p>
24 その他研修実施に係る留意事項	この学則に必要な細則並びに、この学則に定めのない事項で必要があると認められるときは、当事業所がこれを定める。

○ 研修事業情報>研修の概要①

<使用テキスト> (価格は税込み)

- ・介護職員初任者研修テキスト(財団法人介護労働安定センター) 6,069円
- ・介護技術チェックシート(財団法人介護労働安定センター) 514円

H27年度 身体・精神・知的障害者対象委託訓練 【介護職員初任者研修科】募集案内 9月開講

募集人員	計10名 (定員に満たない場合は訓練を中止する場合があります)	
訓練内容	裏面の訓練カリキュラムを参照してください。	
訓練期間	平成27年9月1日(火)～平成27年11月25日(水) 総訓練時間 280時間 土・日のみ休講	
訓練時間	原則 13:00～17:00(施設実習期間中は、8時間になります。)	
実施場所	福岡市博多区博多駅前4丁目-22-2 シティケア博多 TEL 092-452-2294 JR 博多駅より 徒歩 約10分 (※日によって、“ふくふくプラザ”<福岡市中央区荒戸3-3-39>で実施する場合があります。) 駐車場有無 :無し 身障者用トイレ :有り 車椅子使用 :使用可能	
受講料	無料 ただし教材費として約6600円が必要です。また、入校後、健康診断書(6ヶ月以内)の提出が必要です。	
対象者	身体障害者手帳または精神障害者保健福祉手帳または療育手帳を有し、公共職業安定所に求職登録を行っている方で介護を必要とせず身辺処理ができる方。なお、障害の状況によっては受講できない場合がありますので、事前に最寄りの公共職業安定所もしくは、福岡障害者職業能力開発校にご相談ください。また、病気や事故等で障害を持ったため休職中の方で、受講を希望される方は事前にご相談ください。 ※一定の条件を満たせば、求職者支援制度にもとづく職業訓練受講給付金を受給できる場合があります。公共職業安定所にご相談ください。	
応募書類	1 入校願書【委託訓練用】(公共職業安定所にあります) 2 写真1枚(縦40mm×幅30mm、上半身、脱帽、正面向け、6ヶ月以内撮影のもの)を、入校願書に貼付のこと。 3 身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳または療育手帳の写し	
募集期間	平成27年6月15日(月曜)～平成27年7月30日(木曜)	
応募方法	最寄りの公共職業安定所へ(福岡障害者職業能力開発校では受け付けておりません。)	
入校選考	平成27年8月18日(火曜) 13:30より訓練実施場所にて選考面接を行います。 選考結果は8月27日付けで本人宛に郵送にて通知します。	
問い合わせ	福岡障害者職業能力開発校 または 最寄りの公共職業安定所 訓練内容の詳細については委託先にお問い合わせください。 (委託先)社会福祉法人 シティ・ケアサービス電話 092-554-0294	

国立県営 福岡障害者職業能力開発校

〒808-0122 北九州市若松区蟹住1728-1 Tel.093-741-5431 Fax.093-741-1340

○ 研修事業情報＞研修の概要②

介護職員初任者研修科 訓練カリキュラム

訓練概要	介護職員初任者研修修了に必要な研修科目を網羅し、修了後の資格取得を目的とする。障がい者の態様に応じて講義や演習を行い、実際の介護現場を身近で体験できる高齢者施設の利点を活かしながら研修を進めます。また、就職指導では、就職先で求められるマナーやルールを習得します。			
仕上がり像	介護職員初任者研修修了者として認定を得る (※ 研修修了の認定には筆記による修了評価に合格する必要があります)			
訓練内容	科目	科目の内容	時間数	
	学	○オリエンテーション・人権学習 ○職務の理解 ○介護の基本	・人権とは何か、人権侵害の具体例 ・多様なサービスの理解、職業倫理、役割、安全と多職種との連携	20
	科	○介護における尊厳の保持・自立支援 ○老化の理解	・人権と尊厳を支える介護 ・老化に伴うところとからだの変化	20
		○介護福祉サービスの理解と医療との連携 ○認知症の理解	・介護保険制度、障害者自立支援法等各制度の理解 ・認知症を取り巻く環境、認知症の基礎と健康管理	20
		○介護におけるコミュニケーション技術 ○障害の理解	・介護におけるコミュニケーション ・障害の基礎的理解、心理・行動の特徴と支援の基礎	12
		○ところとからだの仕組みと生活支援技術	・介護の基本的な考え方 ・介護に関するところとからだの仕組みの理解	16
		○学科の振り返り ○修了評価	・各科目で習った重要ポイントの確認 ・筆記による修了評価テスト	12
		計		100
	実技演習	○ところとからだの仕組みと生活支援技術	・生活と家事、快適な居住環境整備、整容、睡眠 ・移動、移乗、食事・入浴・排泄介助 ・実技習得状況の確認	84
		○レクリエーション体験学習	・レクリエーションの効果 ・高齢者、障害者を対象とするレクリエーション体験	12
		計		96
	施設実習	○特別養護老人ホーム実習	・高齢者施設の現場体験と総合的な知識、技術の向上	32
		○ホームヘルプサービス同行訪問	・訪問介護同行訪問	8
		○デイサービス実習	・代表的な在宅サービスであるデイサービスの利用現場を実際に体験する	32
		計		72
	就職指導	○障害者就労の現状と介護職が働く職場	・障害者雇用の現状と介護職が働かさまざまな職場 ・就職を実現するために必要な職業準備性について	4
		○就労に必要な基本的能力	・ハローワーク訪問による求人検索体験 ・履歴書の書き方、模擬面接	8
		計		12
	総訓練時間			280

注)カリキュラムは都合により、変更になる場合があります。

福岡障害者職業能力開発校

○ 研修事業情報＞研修カリキュラム

研修カリキュラム

オリエンテーション
人権学習

4.0 時間

4.0 時間)		担当	藤井・法務局
細 目	内 容	訓練時間	
受講オリエンテーション	研修の概要、提出書類、日程、諸注意等の伝達・確認	2	
人権学習	高齢者・障害者等の問題をはじめとする人権問題の正しい認識	2	

学 科

96.0 時間

職務の理解 8.0 時間)		担当	山口
《指導の目安》 (1)介護が目指すべきことを知り、以降の研修に取り組む意識付けを図る。 (2)人の生活を支えるという事はどういうことかを学ぶ (3)介護職の働く環境と具体的な業務のイメージを実感する			
細 目	内 容	訓練時間	
多様なサービスの理解	介護保険サービス(居宅・施設)、介護保険外サービス	4	
介護職の仕事内容や働く現場の理解	居宅、施設の実際のサービス提供現場の具体的なイメージ	4	

介護における尊厳の保持・自立支援 12.0 時間)		担当	大林・赤司
《指導の目安》 (1)介護・福祉サービスを提供するに当たっての基本的視点を学ぶ			
細 目	内 容	訓練時間	
人権と尊厳を支える介護	人権と尊厳の保持、ICF・QOLの考え方、ノーマライゼーションとは	8	
自立に向けた介護	自立支援と介護予防	4	

介護の基本 8.0 時間)		担当	熊井
《指導の目安》 (1)専門性と職業倫理の必要性及び介護を必要としている人の個別性の理解			
細 目	内 容	訓練時間	
介護職の役割と多種職との連携	介護の専門性と多種職の理解	4	
介護職の職業倫理と安全	専門職の倫理の意義、介護における安全確保と心身の健康管理	4	

介護・福祉サービスの理解と医療との連携 12.0 時間)		担当	秀島・藤井
《指導の目安》 (1)介護保険制度、障害者総合支援制度その他制度のサービスの位置付けや代表的なサービスの理解。 (2)利用者を中心に考えるという視点を身に付け、権利を守る各制度を学ぶ。			
細 目	内 容	訓練時間	
介護保険制度	介護保険制度創設の背景及び目的と仕組みの基礎的理解	4	
医療との連携とリハビリテーション	医行為とは、看護と介護の役割・連携とリハビリテーションの理念	4	
障がい者総合支援法およびその他制度	障害者福祉制度の理念と各制度の基礎的理解	4	

介護におけるコミュニケーション技術 8.0 時間)		担当	熊井
《指導の目安》 (1)相手に応じたコミュニケーションを取る必要性を専門職として認識する			
細 目	内 容	訓練時間	
介護におけるコミュニケーション	コミュニケーションの意義・目的・役割と相手・状況に応じた実例	4	
介護におけるチームコミュニケーション	記録における情報の共有化と報・連・相	4	

老化の理解	8.0 時間)	担当	秀島
《指導の目安》 (1)加齢・老化に伴う心身の変化や疾病について、生理的な側面から理解する			
細目	内容	訓練時間	
老化に伴うところとからだの変化と日常生活	老化に伴う心身の変化と日常生活への影響	4	
高齢者と健康	高齢者に多い病気とその日常生活上の留意点	4	

認知症の理解	8.0 時間)	担当	秀島
《指導の目安》 (1)認知症を理解することの必要性を学び、介護する時の原則を理解する。			
細目	内容	訓練時間	
認知症とは	医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	4	
認知症に伴うところとからだの変化と日常生活	認知症の人の生活障害、心理・行動の特徴	2	
家族への支援	認知症の受容過程での援助と介護負担の軽減	2	

障害の理解	4.0 時間)	担当	碓
《指導の目安》 (1)障害の概念とICF、障害者福祉の基本的な考え方について理解する。			
細目	内容	訓練時間	
障害とは	障害の概念とICF、障害者福祉の基本理念	1	
心理・行動の特徴	障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴	2	
家族の心理とかかわり支援	障害の理解・障害の受容支援と介護負担の軽減	1	

ところとからだのしくみと生活支援技術<基本の学習>	16.0 時間)	担当	赤司・秀島
《指導の目安》 (1)人体の構造や機能を学習し、介護サービスの提供方法等を理解する			
細目	内容	訓練時間	
介護の基本的な考え方	理論に基づく介護、法的根拠に基づく介護。	4	
ところのしくみの基礎的理解	学習と記憶、感情と意欲の基礎知識。適応行動と阻害要因。	8	
からだのしくみの基礎的理解	人体の各部に関する基礎知識。ボディーメカニクスの活用。	4	

学科の振り返り 修了評価	12.0 時間)	担当	池
《指導の目安》 (1)研修全体を振り返り、本研修を通じて学んだことについて再確認を行う。 (2)就業後も継続して学習・研鑽する姿勢の形成、学習課題の認識をはかる。			
細目	内容	訓練時間	
振り返り	研修を通して学んだこと、根拠に基づく介護についての要点	6	
就業への備えと研修修了後における継続的な研修	研修修了後の継続的な学習について、具体的な事例を紹介。	4	
修了評価	筆記による1～2時間程度の評価。(認定基準は70点以上)	2	

実技 96.0 時間

生活支援技術の学習	56.0 時間)	担当	熊井・井上 肥川・安東
《指導の目安》 (1)安全な介護サービスの提供方法等を理解し、基礎的な一部または全介助等の介護が実施できるよう習得する。 (2)尊厳を保持し、その人の持てる力を発揮してもらいながら、在宅・地域等での生活を支える介護技術や知識を習得する。			
細目	内容	訓練時間	
生活と家事	家事と生活の理解、家事援助に関する基礎的知識と生活支援。	8	

整容に関連したところからだのしくみと自立に向けた介護	整容に関する基礎知識、整容の支援技術。	8
移動・移乗に関連したところからだのしくみと自立に向けた介護	移動・移乗に関する基礎知識、負担の少ない移動・移乗。	12
食事に関連したところからだのしくみと自立に向けた介護	食事環境の整備・食事に関連した用具などの活用方法と食事形態	8
入浴、清潔保持に関連したところからだのしくみと自立に向けた介護	さまざまな入浴用具と整容用具の活用方法、楽しい入浴。	4
排泄に関連したところからだのしくみと自立に向けた介護	さまざまな排泄環境整備と排泄用具の活用方法	8
睡眠に関連したところからだのしくみと自立に向けた介護	さまざまな睡眠環境と用具の活用方法、快い睡眠とは。	4
実技評価	学んだ支援技術を活かし、指示に基づいた介助を行う。	4

生活支援技術の学習 12 時間)		担当	井上・秀島
《指導の目安》			
(1)安全な介護サービスの提供方法を理解し、基礎的な一部または全介助等の介護が実施できるよう習得する。			
(2)尊厳を保持し、その人の持てる力を発揮してもらいながら、在宅・地域等での生活を支える介護技術や知識を習得する。			
細 目	内 容		訓練時間
快適な居住環境整備と介護	高齢者・障害者特有の居住環境整備と福祉用具を活用した支援方法		8
死にゆく人に関したところからだのしくみと終末期介護	生から死への過程、「死」に向き合うところの理解、苦痛の少ない死への支援。		4

生活支援技術演習 16 時間)		担当	池
《指導の目安》			
(1)安全な介護サービスの提供方法を理解し、基礎的な一部または全介助等の介護が実施できるよう習得する。			
(2)尊厳を保持し、その人の持てる力を発揮してもらいながら、在宅・地域等での生活を支える介護技術や知識を習得する。			
細 目	内 容		訓練時間
介護過程の基礎的理解	介護過程の目的・意義・展開、介護過程とチームアプローチ。		8
総合生活支援技術演習	生活の各場面で生活支援を提供する流れの理解と技術を習得		8

レクリエーション体験学習 12.0 時間)		担当	山崎
《指導の目安》			
(1)レクリエーションの目的を理解し、さまざまなレクリエーションを実際に体験する。			
細 目	内 容		訓練時間
高齢者・障がい者を対象とするレクリエーション	対象の特性に応じたレクリエーションについて体験的に理解する		12

就職指導 12.0 時間

障害者就労および介護現場の現状認識 12.0 時間)		担当	藤井
《指導の目安》			
(1)障害者の就労環境、および就職を目指す介護現場の現状を学ぶ。			
細 目	内 容		訓練時間
障がい者雇用の現状、障がい別就労状況、企業が求めること	就職を取り巻く環境を認識し、企業が求める人材について学ぶ。		4
介護職場のタイプと現状、介護職に求められること	介護職場の種類と特徴、介護職として働いている実態を学ぶ。		4
介護関係の求人	実際の求人を確認し、受講生の進路決定に役立てる。		4

施設実習 72.0 時間

特別養護老人ホーム実習 32.0 時間)		担当	川上・安東
《指導の目安》			
(1)利用者の安全に配慮し、講義で学んだ知識を実践し、身につける。			
細 目	内 容		訓練時間
学科・実技講習で学んだ知識の実践	これまで身につけた知識を高齢者福祉施設において実践し、実務能力を高める。		32

ホームヘルプサービス同行訪問	8.0 時間)	担当	平田
《指導の目安》 (1)専属のヘルパーに同行し、自宅生活を営む利用者の現状を学ぶ。			
細目	内容		訓練時間
訪問介護同行訪問	ホームヘルプサービス同行訪問により業務を体験的に理解し、援助能力を高める。		8

デイサービス実習	32.0 時間)	担当	仲村・斎藤
《指導の目安》 (1)利用者が何を楽しみにデイサービスに通うのかを体験的に学ぶ			
細目	内容		訓練時間
在宅サービス提供現場の見学と体験	在宅サービス提供現場の体験を通して、サービスの役割・機能を把握する。		32
通常訓練計	280.0 時間		

○ 研修事業情報＞課程責任者

氏名	年齢	略歴		資格
藤井 俊樹	56歳	民間企業会社員	29年	社会福祉士
		障がい者就労支援	5年	介護職員基礎研修
池 芳江	60歳	介護職	27年	介護福祉士 介護支援専門員

○ 研修事業情報＞修了評価＞評価の方法

- ・介護職員初任者研修必須科目を全て受講した後、受講内容に沿った1時間程度の修了評価を筆記試験で行う。
- ・評価の難易度は、「知っているレベル」「大体のところを説明できるレベル」であることとする。
- ・評価基準は、A=90点以上、B=80～89点、C=70～79点、D=70点未満の4区分とし、70点以上(=C以上)を合格とする。
- ・評価基準がDの受講者に対しては、補講を行い、再評価する。
- ・修了評価とは別に、介護に必要な基礎的知識の理解度及び生活支援技術の習得状況の評価を行う。
- ・実習に関する評価は、受講者から提出された実習日誌に基づいて行う。

○ 研修事業情報＞修了評価＞評価者

課程責任者、池 芳江が実施。

○ 研修事業情報＞修了評価＞再履修等の基準

修了評価を受けるための必須科目の90%以上を受講し、修了の見込みがあると本校が認める受講生は、修了評価までに行われる未履修科目の補講を必ず受講する。
(補講費用については無償とする)
必要な補講を受けなかった場合は、修了評価を受けることができず、介護職員初任者研修修了者の認定も不可。

○ 研修事業情報>実習施設

実習施設情報

・介護実習

法人(運営主体)名	施設名又は事業所名	施設(事業)種別	事業所番号	所在地	担当者	実習プログラム内容・特色	実習中の指導体制・内容	現在までの実習者数
社会福祉法人シティアケアサービス	シティアケア博多	介護老人福祉施設	4070901584	福岡市博多区博多駅前4丁目22番2号	川上泰伸 斉藤 勉	・オリエンテーション、施設見学。 ・一日の生活の流れを把握、利用者とのコミュニケーション。 ・レクリエーション、行事などへの参加。生活環境整備。 ・記録・ケアプランの閲覧、実習の振り返り、実習記録の作成。	介護リーダー・サブリーダー、担当職員の指導の下、 ・利用者の個性や人間関係を理解する為の着眼点を理解させる。 ・職員の指導の下、経験目標に沿った内容で、自立に向けた介護の考え方やプロセスを理解できるよう指導する。	15名
社会福祉法人シティアケアサービス	シティアケア長住	介護老人福祉施設	4071100699	福岡市南区長住3丁目7番1号	安東くるみ			14名

・ホームヘルプサービス同行訪問

法人(運営主体)名	施設名又は事業所名	施設(事業)種別	事業所番号	所在地	担当者	実習プログラム内容・特色	実習中の指導体制・内容	現在までの実習者数
社会福祉法人シティアケアサービス	シティヘルパー長住	訪問介護	4071300307	福岡市南区長住3丁目7番1号	仲村貴之	・オリエンテーション、訪問先の確認等。 ・訪問記録、介護計画等を確認・閲覧。 ・利用者への紹介、コミュニケーション。 ・生活援助・身体介護を経験。実習の振り返り。実習記録作成。	サービス提供責任者の指導及び専属ヘルパーとの同行を通じ、 ・訪問介護サービスの機能・内容、関係機関との連携、社会資源の活用状況等の理解をさせる。 ・利用者を取り巻く家族関係を理解し、配慮することの重要性を理解させる。 ・介護の工夫の現状と自立に向けた支援の考え方を理解させる。	29名

・在宅サービス提供現場見学

法人(運営主体)名	施設名又は事業所名	施設(事業)種別	事業所番号	所在地	担当者	実習プログラム内容・特色	実習中の指導体制・内容	現在までの実習者数
社会福祉法人シティアケアサービス	シティデイサービス博多	通所介護	4070901600	福岡市博多区博多駅前4丁目22番2号	斉藤 勉 川上泰伸	・オリエンテーション、施設見学。 ・一日のプログラムを把握、送迎時の介護の補助。 ・コミュニケーション、行事、リハビリテーションへの参加。	デイサービスリーダー、作業療法士、看護師、担当職員の指導の下、 ・通所系サービスの機能、内容、及び他の居宅サービスとの連携を理解させる。 ・利用者の個性や人間関係を理解する為の着眼点を理解させる。 ・自立に向けた介護の考え方やプロセスを理解させる。	15名
社会福祉法人シティアケアサービス	シティデイサービス長住	通所介護	4071100681	福岡市南区長住3丁目7番1号	仲村貴之	・通所、介護計画の閲覧。 ・実習の振り返り・実習記録の作成。		14名

担当講師一覧表

項目	科目	担当講師	現職	略歴	資格
1 職務の理解	1 多様なサービスの理解 2 介護職の仕事内容や働く現場の理解	山口修	社会福祉法人 シティ・ケアサービス シティケア長住施設長	平成17年から居宅介護支援事業所の介護支援専門員を、平成20年から他施設の施設長を経て現職。	社会福祉士 介護支援専門員
2 介護における尊厳の保持・自立支援	1 人権と尊厳を支える介護	大林賢士	社会福祉法人 シティ・ケアサービス シティケア博多施設長	平成10年から複数の施設で介護職員、生活相談員、マネジャーを経て現職。	社会福祉士
	2 自立に向けた介護	赤司圭子	社会福祉法人 シティ・ケアサービス シティケア神松寺施設長	平成11年からグループホーム、ケアハウス介護職員を経て現職。	社会福祉士 介護福祉士
9 ことごとからだのしくみと生活支援技術	1 介護の基本的な考え方	池 芳江	社会福祉法人 シティ・ケアサービス 法人本部 研修室室長	平成元年より特別養護老人ホームの介護職、介護支援専門員、介護長を経て現在に至る。	介護福祉士 介護支援専門員
	13 介護過程の基礎的理解 14 総合生活支援技術演習				
10 振り返り	1 振り返り 2 就業への備えと研修修了後における継続的な研修				
3 介護の基本	1 介護職の役割、専門性と職種との連携 2 介護職の職業倫理 3 介護における安全の確保とリスクマネジメント 4 介護職の安全	熊井美砂江	西日本短期大学 非常勤講師	平成元年より、特別養護老人ホームのケアマネ業務の後、専門学校専任教員、短期大学の非常勤講師を経て現在に至る。	介護福祉士 介護支援専門員
9 ことごとからだのしくみと生活支援技術	8 食事に関連したところからの仕組みと自立に向けた介護 9 入浴・清潔保持に関連したところからの仕組みと自立に向けた介護 11 睡眠に関したところからの仕組みと自立に向けた介護				
4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携	2 障害者自立支援制度及びその他制度	藤井俊樹	社会福祉法人 シティ・ケアサービス 障がい者就労支援事業所ワーカーズ・シティケア管理者	民間企業管理職を経て、平成22年より障がい者就労支援に携わり、現職。	社会福祉士
	1 介護保険制度 3 医療との連携とリハビリテーション	秀島晴美	現在は個人で活動(NPO法人IBDネットワーク理事、九州IBDフォーラム佐賀IBD縁笑会副代表、あやらぎこどもクリニック事務長、専門学校非常勤講師他)	昭和59年より、大学病院などで看護業務に従事。その後、専門学校講師や行政の介護認定業務や保健指導業務を経て現在に至る。	看護師 介護支援専門員 福祉住環境コーディネーター 社会福祉士
6 老化の理解	1 老化に伴うことごとからだの変化と日常 2 高齢者と健康				
7 認知症の理解	1 認知症を取り巻く状況 2 医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理 3 認知症に伴うことごとからだの変化と日常生活 4 家族への支援				
9 ことごとからだのしくみと生活支援技術	2 介護に関するところのしくみの基礎的理解 3 介護に関することごとからだのしくみの基礎的理解 12 死に行く人に関したところからの仕組みと終末期介護				
5 介護におけるコミュニケーション技術	1 介護におけるコミュニケーション 2 介護におけるチームのコミュニケーション	熊井美砂江	西日本短期大学 非常勤講師	平成元年より、特別養護老人ホームのケアマネ業務の後、専門学校専任教員、短期大学の非常勤講師を経て現在に至る。	介護福祉士 介護支援専門員
9 ことごとからだのしくみと生活支援技術	6 整容に関連したところからの仕組みと自立に向けた介護	肥川さとみ	ウィルマーク香椎浜(有料老人ホーム)マネジャー	昭和56年より3つの病院で12年間看護師として勤務。平成15年から社会福祉法人シティ・ケアサービスに入職し、看護師・相談員を経て現在に至る。	看護師
8 障害の理解	1 障害の基礎的理解 2 障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識 3 家族の心理、かかわり支援の理解	碓 道子	社会福祉法人 シティ・ケアサービス 障がい者就労支援事業所ワーカーズ・シティケア サービス管理責任者	平成9年より、障がい者の小規模作業所・デイサービスセンターの指導員として勤務。その後、在宅サービスのヘルパー・サービス提供責任者を経て現職。	介護福祉士 社会福祉士 介護支援専門員
9 ことごとからだのしくみと生活支援技術	4 生活と家事	安東くるみ	社会福祉法人 シティ・ケアサービス シティケア長住特別養護老人ホーム 施設マネジャー	平成7年よりヘルパーを5年、施設で介護職を4年半、その後、サービス提供責任者を経て、現在に至る。	介護福祉士
9 ことごとからだのしくみと生活支援技術	5 快適な居住環境整備と介護 7 移動・移乗に関連したところからの仕組みと自立に向けた介護 10 排泄に関連したところからの仕組みと自立に向けた介護	井上りか	西日本短期大学 非常勤講師	平成2年より、老人保健施設介護職を経たのち、施設サービス・在宅サービスのサービス提供責任者・管理者を歴任、現在に至る。	介護福祉士 介護支援専門員
11 人権学習	1 高齢者問題をはじめとする人権問題	北村紀代子	福岡県人権擁護委員連合会 事務局長		看護師

○ 実績情報

過去の研修実績と就業情報

<訪問介護員養成研修2級課程(=通称 ヘルパー2級)>

平成23年度	・平成23年6月30日～10月29日 ・受講生：10名 ・資格取得者：10名 ・就職者数：7名(内介護系5名)
平成24年度	・平成24年7月3日～10月31日 ・受講生：12名(1名中途退所) ・資格取得者：11名 ・就職者数：7名(内介護系6名)

<介護職員初任者研修>

平成25年度	・平成25年11月1日～平成26年2月28日 ・受講生：9名(1名中途退所) ・資格取得者：8名 ・就職者数：6名(内介護系5名)
平成26年度	・平成26年10月2日～平成27年1月30日 ・受講生：7名 ・資格取得者：7名 ・就職者数：5名(内介護系4名)

○ 連絡先等

<お問い合わせ先>

国立県営 福岡障害者職業能力開発校
〒808-0122 北九州市若松区蛸住1728-1
Tel.093-741-5431 Fax.093-741-1340

訓練内容の詳細については
社会福祉法人 シティ・ケアサービス シティケア長住
〒811-1362 福岡市南区長住3-7-1
Tel.092-554-0294 Fax.092-554-0295

<法人の苦情対応者>

社会福祉法人 シティ・ケアサービス
法人本部長 大庭 欣二
〒811-1362 福岡市南区長住3-7-1
Tel.092-554-0294 Fax.092-554-0295

<事業所の苦情対応者>

社会福祉法人 シティ・ケアサービス
法人本部部長 澤山 正登
〒812-0011 福岡市博多区博多駅前4-22-2
Tel.092-452-2294 Fax.092-452-2290